

森

永製菓のチョコレール
トお菓子「小枝」を
知っていますか。

期間限定商品のパッケージに「北海道十勝浦幌産ミルク使用」と大きく書かれ、「あと味のいい浦幌産ミルクたつぷり…」と表示されています。

裏面には、北海道十勝浦幌産ミルクは、しつこさのない「ミルク感」と「クリーム感」、「ココ味」が一体となった『ココ

とキレ』を味わえるミルクです。その浦幌産ミルクをふんだんに使用したホワイトチョコレールにコーンフレークとパフを散りばめました。
と書いてありました。
食べてみました
でしたが、とてもおしかった
です。皆さん

にお伝えしたいと連絡しました。

ご連絡ありがとうございます。早速商品を買いました。浦幌の酪農家の皆さんが丹精を込め、育てた牛から搾る牛乳の美味しさは間違いありません。
皆さんはお食べになりましたでしょうか。おいしいです。まだ食べていない方はすぐにお店へ。



義援金ありがとうございます

3月15日、浦幌ライオンズクラブ（上谷内信雄会長）が役場を訪れ、全国のライオンズクラブから寄せられた十勝沖地震の義援金33万円を町に贈っていただきました。また、3月25日には新入学児童を交通事故から守るため、黄色いランドセルカバーを寄贈していただきました。ありがとうございます。



第19回冬季町民バドミントン大会

3月21日、スポーツセンターで町民バドミントン大会が開かれました。成績は次のとおりです（優勝のみ・敬称略）。

男子ダブルス 廣富直樹・関井祐太組
女子ダブルス 山本美奈子・横山一実組
ミックスダブルス 関井祐太・横山一実組



勿体無いよ！ うらほろ

近江 正隆

こんな魅力ある町なのに…。

東京から移住してまもなく15年。こんな私だから気付くことって、きっとあるはず。

そんな私の「気付き」を形にすることで、皆さんにいい刺激を与えられたら…。最後まで読んでいただけたら、幸せです！

第1話～日本の中の浦幌町

先日、沖縄で「ライフスタイルを考える」というセミナーがあって、私もパネラーとして招待を受けて参加してきました。たくさんの沖縄の人との出会いがありましたが、私が受けた一番の印象！それは「沖縄人って、県外や外国から来た人にとっても優しく（異常なぐらい）接する」ということです。

「沖縄の人ってみんな気がいいよね」と地元の方に話したらこんな答えが帰ってきました。

「沖縄はかつて小さな独立国だったから、近くの中国や日本という大国につぶされないよう、したたかに生きてきたんです。米軍に対しても同じです。強い相手と仲良く付き合うセンスが私たちには備わっているんです」

おお～。。衝撃を受けました。ナントしたたかな！恐るべし、沖縄人…。

では、この感覚を「沖縄」から「浦幌」に置き換えてみたらどうなるでしょう。この浦幌町が自らの強み・弱みを自覚して「日本の中の浦幌町」という立場を見つけ、したたかに生き始めた時、きっと東京、大阪などの大都市は脅威と感じる時が来るのでしょうかね。

だって、浦幌に限らずここ十勝の「食料生産地」という強みは大都市と対等につき合うにも十分な武器ですから。次号で具体的に。つづく。



近江 正隆（おうみまさたか）
1970年東京都生まれ。19歳で来道。土幌町で酪農業などを体験後、1991年浦幌町に移住。現在漁業に従事する傍ら、水産加工品などを販売するネットショップ「旬の逸品やさん」を運営している。

我が家のアイドル



櫻庭 優那ちゃん（2才4か月）
優斗くん（4か月）

光南 パパ洋司 ママ利佳

歌と踊りが大好きな優那と
いつも静かで手のかからない優斗です。
優那はじいちゃんが大好きで
じいちゃん家に行くと、じいちゃんの元に
真っ先に走っていきます。
2人とも元気にすくすく優しい子に育ってね。

おいしいコロッケをいただきました

㈱サンマルコ食品から養護老人ホーム「ラポロ」と特別養護老人ホーム「はまなす園」に冷凍コロッケをいただきました。

3月23日に両ホームで調理され、食卓に並びました。入所者は「とてもおいしい」と喜んで食べていました。

ありがとうございます。

